

ひだまり2月キャンプに参加させていただいて

T・I（中学2年生女子保護者 2026年2月記す）

ひだまり2月キャンプに参加させていただき、ありがとうございました。

今回は大学4年生の皆さん、前回仲良くなったYちゃんと過ごす最後のキャンプということで、娘は一層、参加を楽しみにしていました。当日はキャンプ場に着くと、遠くからすぐにエルモ（活動年2023年～）が「Hちゃん」と声を掛けてくれて嬉しそうでした。どの学生さんも娘に声を掛けてくれて、娘は終始笑顔で私もとても嬉しかったです。こうした学生さんが皆自然に声掛けてくれるところにいつも感謝しています。ありがとうございます。

お別れが淋しくて泣いたと思われる娘でしたが、閉村式の後もたくさんの学生さんに声を掛けてもらい、それぞれの学生さんとお別れできたのかなと思います。

温かな雰囲気で行われていた卒業式・閉村式はとても素敵でした。

前に立つ中3のお子さんの姿にジーンと胸を打たれ、大学4年生の人たちのアサヒキャンプらしい元気な卒業式には元気をもらいました。

娘がアサヒキャンプに参加し始めたのは今の4年生が1年生の時でした。ずっと見守ってくれていた4年生の皆さんが居なくなるのはとても淋しく、切なさやたくさんの感謝の気持ちで胸が一杯になる卒業式でした。

振り返るとアサヒキャンプに参加し始めて3年半になります。

参加当初は登校渋りがあったり、学校生活で大きなストレスを抱えていた娘ですが、今学校が楽しいと言っています。今では友達になりたいと思ったクラスメイトに声をかけて、いつも一緒に過ごす友達ができ、友達と出かけたいと思うようになりました。

自分を受け入れ見守ってくれる人がいることで心が満たされ、一步を踏み出してみようと勇気が出る、少し勇気を出して行動できたことで、また次の一步に繋がる。アサヒキャンプが期待する効果はここなのかなと、ようやく3年半を経て感じています。

アサヒキャンプをはじめ、学校、放課後デイなど、娘を見守ってくれる方々のおかげで、心が健やかに成長しています。いつもありがとうございます。これからもよろしく願います。

4年生の学生さんへ

キャンプ、楽習会で本当にお世話になりました。

いつも「Hちゃん」と優しく声を掛けてくれて、沢山お話して、遊んでくれてありがとうございました。

思い出は、いつかは忘れてしまうかもしれないけれど、お兄さんお姉さんとの思い出は、心の深いところで温かな記憶として残り、子供の健やかな成長へと繋がっています。本当にありがとうございました。これからの未来が素晴らしいものとなるよう心から願っています。